

ふれんどしっぷ

1996年3月5日
発行
郡上八幡国際
友好協会
総務部

「ダンニョンハシムニカ」

韓国・英陽郡と交流!!

昨年十一月二十七日(二十
八日まで東京にて、(財)自治体国
際化協会主催による国際交流
シンポジウム「東京セミナー」
が開催され、当協会も参加し
ました。

タイ・中国・韓国等近隣国
からの参加者をはじめ、欧米
各国から沢山の国際交流担当
者が一同に会し、これからの
交流の在り方等、事例発表も
踏まえながら討議し合いました。
二日間のセミナー後、各自
治体との交流事業があり、当
町にも韓国・英陽郡の副郡守・
裴大潤氏と庶務係長の金在京
氏の二名が訪ずれ、町当局や
地元企業訪問等行いました。
そして、三日間の滞在を終え、
お互い再会を約束して名古屋
空港より帰国の途につかれま
した。

両氏滞在中は、同町相生の
和田正之氏宅にホームステイ
されました。
ここにホスト家庭としてお
世話いただいた、和田正之氏
のご感想を掲載させていただきます。

韓国からの お客様をお迎えして

「郡上八幡の山と川は、英陽
邑の秋と同じように美しい、懐
かしい風景です」。通訳の崔君
を介して、韓国英陽郡副郡守
の裴大潤氏は我が家の庭先で
にこやかにこうはなしてくれ
ました。

裴さんは、東京で開催され
た世界各国の自治体関係者の
第一回会議「東京セミナー」に
参加され、その後、日本各地
に散ってそれぞれの自治体と
の交流を行う地方研修の一環
として、受け入れに賛同した
八幡町と郡上八幡国際友好協
会(GIFA)の招きに応じ
て来幡されました。

十一月二十九日、同じくセ
ミナーに参加したGIFA役
員の斎藤雅人君とともに表敬
訪問のために役場に到着。代
表の裴大潤氏と随行の金在京
氏、そして通訳の岐大留学生
崔君、柳君の二人は、新庁舎

玄関横ホールに、晩秋の夕映
えの空を背景に鮮やかに翻る
「大極旗」に迎えられました。
玄関に出迎えた小森助役をは
じめ多数の役場職員、坂本
(GIFA)会長以下役員の拍
手の中、女子職員から歓迎の
花束がおくられました。
長身でハンサム、四十代の



若き副郡主裴さんは、大統領
直接任命による高級官僚とし
て任に就いて二年目だという。
そのエリート行政マンは、実
に精力的で澁刺とした勤勉家
であった。

ささやかな歓迎の初日の夕
食は、もちろんキムチと唐辛
子の粉末を添えた親善友好鍋
(実は魚すき)を囲んで上質の
日本酒(いただきもの)で乾
杯。さほど強くないと言われ
ながら、注いだコップ酒は韓
国流で一気に飲み干して受け
る。しかしながら決して乱れ
ず、日本の経済や政治につい
て、教育や文化、思想の分野
に至るまで、強い関心を示し
てメモを片手に質問の山を築
いて迫る。短期間の滞在中に
できるだけ多くの事柄を学び
とうろという姿勢は、濃密な

時を刻んで午前一時を過ぎて
もなおつづく。通訳の崔君は、
風呂に入ることも許されない。
この講究心ともいえる態度は
役場幹部職員やGIFAの交
流会・企業訪問の場でもいか

もなく発揮された。
朝六時、うす暗いうちから
朝の散歩。睡眠時間は三時間
程だろうか。我が家から二km
離れた乳牛牧場、シクラメン
栽培中のハウス畑を見学。農
業生産の盛んな英陽郡のさら
なる進展をめざしての学習で
ある。大きな期待の中で韓国
の次代を担う裴さんの勤勉で
誠実な姿は高級官僚とはかく
あるものかと教えられた。

裴さん達の四日間の民泊の
宿主として、少しでも韓国・朝
鮮の歴史・文化の理解を深め
ておこうと思った。幸いに岡
百合子先生から恵贈を受けた
自著の「韓国・朝鮮史」(岩崎
書店)があることに気づき読
みはじめた。
読み進める程に、今までの
隣国韓国の歴史文化に対する
理解や日本との交流の歴史認
識の甘さを教えられ、その無
知さ加減に愕然となった。幾
度かの侵略に血ぬられた歴史
をもつ国。他国のエゴによる
支配と搾取にさらされた国。
殺戮と破壊というその悲惨の
中から、それでもこの国の人々
は幾度となく立ち上がってきた。
そして独自の文化を築いて
きた。その文化は何世紀に
も渡って日本にも伝えられた。
主に仏教を中心とした建築、
さまざまな美術工芸品、紙や
墨の製法から印刷技術、さら
には文学や思想、それらは拾
い上げれば枚挙にいとまがな
い。百済・高句麗・新羅との
開かれた交流は、日本に飛鳥
文化を花開かせ、奈良・平安
の時代にも豊かな文化を実ら
せた。
そういえば数年前、教育交

流を縁として韓国の元誠敏(通
称ソソ君)の御両親に招かれ
訪韓の折、博物館を案内され
た私たち家族に、「韓国の歴史
を語る建物はほとんどありま
せん。四千年以上に渡るこの
国の歴史の中で他国の侵略は、
文化的遺産の破壊の歴史でも
あるのです。むしろ、韓国の
文化史を語る物は、法興寺・法
隆寺の建物や仏像、工芸品と
なって日本で観ることができ
ます」と、かつて日本による
植民地の中で、「皇民化政策」
による日本語教育という苦い
体験で覚えたといわれる日本
語でこう語られた元君のお父
さんのことを思い出す。
今、侵略によって人命を奪
い文明を破壊し民族のほこり
を抹殺してきたことへの深い
重い意味に気づく力さえも持
ち合わせなかった、そんな私
に胸が痛む。
北米や西欧諸国にしか目が
向いていなかった姿勢は、も
っとも近い国を遠くに隔てて
知らないままに無関心を装っ
てきた。無関心がさらなる無
知を招く、そして無知は再び
過ちを招いてゆくことをもっ
とも恐れる。

歴史が語る真実に目を覆う
ことなく、民族の歴史と伝統、
そして文化・思潮を重んじつ
つ学び、交流を深めていく、そ
こにこそ本当の友好の絆は培
われていくのではないかと、「和
田さん、来年の五月までには
英陽郡で会いましょう」と大
きな手を差し出され、固い握
手を交わした時からその思い
は一層強くなっている。
和田 正之

私ニューヨークで頑張っています



ケイ・リー・キュンミー

Happy New Year!
明けましておめでとござ
います。

ニューヨークでひさしぶりのホワイトクリスマスをしたのでありますが、私の心のどこかには、八幡ですごした冬の思い出がいっぱい生きています。

いつか、ちかいうちまた八幡に行けることを楽しみにしています、待っていて下さい。八幡でGIFAの活動にさ

二人のプロフィール

ケイ・リー・キュンミーさん

第二回(一九九一年)

夏期日本語講座受講生

第三・四回

(一九九三・九四年)

リエゾン

その後郡内でAETとして活躍

現・米・コロンビア大学大学院

ニューヨーク在住

チャール・イートンさん

第一回(一九九〇年)

夏期日本語講座受講生

第二回(一九九一年)

リエゾン

現・京都西高校教師

京都在住

んかさせていたがながら、いろいろなうちに体に、みについたことがたくさんあり、今のニューヨークでの生活にも、生かしています。

そのうちの一つは、自分のステレオタイプを消し、いろいろな外国からの友だちを、もつとたくさん作り、交流ができたのです。春学期にはコロンビア大学院でアジアクラブを作り、日本人の学生と、韓国人の学生の交流をよくしようとするメンバーの一人としてがんばっています。みなさんのおかげで学んだことをむだにしないように、今年96年もがんばりたいと思います。今年も遠いところからみなさんの応援、おねがいいたします!!

郡上八幡の皆さん じめなかな

〈夏期日本語講座卒業生より便りが届きました〉



チャール・イートン

約四年間、京都に住んで京都西高校で英語とフランス語の教師として働いています。今年担任したクラスは卒業します。クラスの二十三名は京都外国語大学に進学が決まりました。五名ほどアメリカの大学を希望しています。残りの生徒は、まだ受験をしているところです。

岐阜大学留学生との交流会

昨年十一月十二日(日)岐阜大学で学んでいる留学生が、課外授業の一環として八幡町を訪れました。ベトナム・タイ・バングラーディシユ・インド・韓国・中国等から五十名の参加がありました。一行は博覧館を見学後、安養寺にて昼食をとり、宗祇水・やな水の水のこみち・いがわこみち等、町内散策後、ふるさとまつりを見学し、その後防災センターで、協会員と交流会を行いました。留学生は、美しい町・自然・川に感激し、八幡の人々の親切な人柄に感銘を受けて、もう一度訪問したいと話していました。



交流の様子(防災センター)

教育交流事業は

ひと休み

協会が発足時から六年間続けてきました夏期日本語講座はアメリカ事務所が
・事業収支が赤字である。
・学生の応募が少ない。
・現在のスタッフ体制では事務負担が大きい
という事情により、誠に残念ながら来年度の開催が不可能となりました。新たな事業を展開するため、また検討を重ねていきたいと存じます。皆様からのご意見ご要望をお待ちしています。

八幡の皆さん お久しぶりです

八幡町のAET(英語指導助手)としてアメリカ、オハイオ州からアンバー・ジョンソンさんがみえました。彼女は1992年の第三回夏期日本語講座受講生として来日し八幡町内に二カ月間ホームステイしましたが、その時

のことが忘れられず、郡上八幡に戻ってきました。そんな彼女にインタビューをしてみました。

- Q. 八幡についてどう思いますか
みんな親切で寛大で景色が美しい
- Q. 趣味や興味のあること
スポーツ、読書、日本語と文化
- Q. 好きな食べ物
うどん・寿司・天ぷら・シュークリーム・チョコレート
- Q. 何かトライしてみたい事は
旅行・生花・やきもの
- Q. 日本の冬は寒いですか
オハイオの方が寒いです。
- Q. 日本の小・中学生について
最初はみんなとてもシャイでしたが、今では打ち解けてよく話したり、アメリカにとっても好奇心をもって色々よく聞かれます。
- Q. 外国語を学ぶ人にアドバイスは
その国で生活する事が一番簡単で手っ取り早い方法でしょう。又その国の文化を知る事が、その国の言葉を知る上でとても重要です。

当協会が主催する英会話教室(五月頃予定)に講師として協力をしていただける予定です。みなさんの受講をお待ちしております。